



ゆくて遥かに

令和3年1月18日(月)

第141号

長野県松本深志高等学校長

折衝会行われる(1月12日~14日)

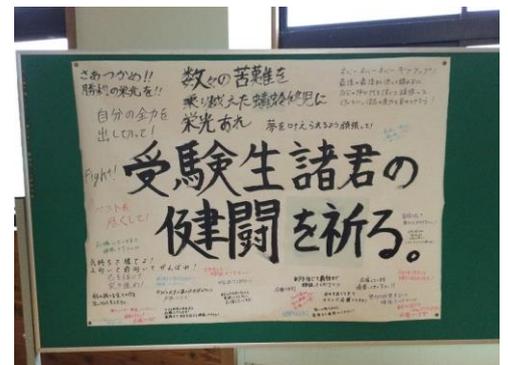
2021年度の生徒会一般会計予算(総額約640万円)に係る折衝会が、1月12日の火曜日から金曜日までの四日間行われました。今年は、密を避けるために1棟3階の五つの教室を会場とし、それぞれの団体代表が分散して入室、メイン会場をパソコン教室に設置してのズームによる開催です。生徒会の予算を要求するすべての委員会、クラブ、生徒会本部など71団体の会計担当者が一堂に会して、来年度の予算を分配するのが今回の折衝会の目的。2000年に入った頃から、担当者が全員集まる形での「折衝会」が始まりました。今年度の予算要求総額は約82万円のオーバーという、比較的穏やかなスタート。これは、今年度のとんぼ祭がコロナの影響で規模を縮小しての開催となったため、とんぼ祭繰越金が例年より多かったことも影響しています。生徒会の予算を生徒自身で決定することは「自治」の基盤だと思いますが、その過程は困難を極めます。要求している品物は本当に必要なのか、その数は適当なのか、その価格は適正なのか、こうすればもっと安くできるのではないかと、昨年度より増えているのはなぜか。こうした論陣を張っていく上で、スマートフォンの果たす役割は大きく、今や折衝会の必須のアイテムとなっています。もちろん、出席者はそれぞれの団体を代表して出てきているだけあって事前によく研究



してきており、予算減の意見にも簡単には応じず、オーバー分を減らすための厳しいやり取りが会議の中で繰り返されます。こうしたプロセスを当事者である生徒が踏むことで、お金の使い道を真剣に考え、大事に使っていかうという意識も生まれるのでは、と期待しています。今年度の折衝会、初日は予定時間の19時を15分超過して約10万円の圧縮に留まり、二日目は19時までには約30万円の減、三日目は最終日となる予定でしたが、約30万円削減を上乗せしたところで一日延長を決定。結局超過分が全て解消されたのは15日の18時過ぎ、来年度の予算案は無事決定を見ました。

大学入学共通テスト(1月16日~17日)

コロナ感染者が急増する中、幸いなことに校内で感染者を出すことなく、共通テスト当日を迎えることができました。18日は登校しての自己採点。現状を冷静に分析して、これからの戦略を練ってほしいと思います。そして、自分の伸び代を信じて、最後の最後まで絶対に諦めない、という強い気持ちで頑張り抜くこと。ネバーギブアップの精神で、様々な困難を乗り越える深志生の底力に期待します。



「黄葉 伍朗ちゃんがいる教室」放映される(1月9日)

テレビ信州と本校の放送委員会が共同制作したドキュメンタリー番組「黄葉（こうよう）伍朗ちゃんがいる教室」が、9日に放映されました。昨年のNHK杯全国放送コンテストのテレビドキュメント部門において優勝した「最後のLHR」という作品をベースに再編集された番組です。当時3年だった西尾さんが制作の中心的役割を果たしましたが、教育長を表敬訪問した際に、戦後の新制高校でロングホームルームが果たしてきた役割や意義、重要性と現在の在り方への課題意識等について簡潔にまとめて、見事なプレゼンテーションをしたことを今でも鮮明に覚えています。高校における特別活動の目標は、次に挙げる三つの資質・能力を育成することを目指す、と学習指導要領には示されています。「①多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする ②集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする ③自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う」生徒一人一人が心と魂で真実、真理を追い求める学校でありたい、という高い理想を抱いていた山本伍朗先生が、卒業後も続いたホームルーム活動に込めた願い。「人間的にどのように生きるかを必死に考える時間と環境が深志にはあった」とは、ある卒業生の言葉です。



合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする ③自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う」生徒一人一人が心と魂で真実、真理を追い求める学校でありたい、という高い理想を抱いていた山本伍朗先生が、卒業後も続いたホームルーム活動に込めた願い。「人間的にどのように生きるかを必死に考える時間と環境が深志にはあった」とは、ある卒業生の言葉です。

その他の話題をいくつか

★ 13日の昼休み、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のスケート競技（男子1万メートル、5000メートル）に出場する2年の戸田くんは、同窓会からの激励金と校長からの寸志を手渡しました。大会は1月21日から長野市で開催されます。また戸田くんは、2月に北海道で行われる全国高等学校選抜スピードスケート競技会にも出場が決まっています。目標を聞くと、「3年生も出場するインターハイは一桁の順位を、1・2年生のみの選抜大会では表彰台を目指したい」と力強く語ってくれました。全国での健闘と活躍を期待しています。



★ あいち造形デザイン専門学校（学校法人電波学園）主催の高校生クリエイターコンテスト2020で、3年の田子さんの作品がポスター部門で優秀賞に選ばれました。とんぼ祭のために制作したポスターを応募したのだそうで、とんぼの校章を上手にデザインしています。

今週の予定（1年スキー・スノボ教室は中止、3年後期特編授業）

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
18	月	学年会	
19	火	3年後期特編授業（～2/12、～2/19）	
20	水	特①②③水④⑤⑥	校長会役員会
21	木	火①②③④⑤⑥（1・2年）	校長会普通部会・講演
22	金	特①②③水④⑤⑥（2年） 特①②③探究（1年）	
23	土	KDDI 共創プロジェクト成果発表会 模試（2年）	
24	日	英語検定	
25	月	学年会	こんにちは県議会です